

令和6年度 西淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

令和6年度 西淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	136	55	48	4.0	13.9
	大阪市	—	56	51	4.1	12.5
4月18日	全国	—	58.1	52.5	3.9	11.3

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3 年	学校	137	62.4	43.1	42.4	50.9	48.6	3.8	5.1	15.1	4.2	7.2
	大阪市	—	65.4	50.2	48.8	53.1	54.0	4.9	4.7	14.3	4.3	6.5
9月3日	大阪府	—	65.2	50.4	49.1	52.4	53.6	5.3	5.0	14.8	5.0	6.9
2 年	学校	148	61.0	48.6	44.9	38.2	45.8	11.9	5.2	12.1	8.7	10.6
	大阪市	—	66.1	53.6	51.4	47.0	54.6	8.4	4.4	8.2	5.7	7.0
1月9日	大阪府	—	65.5	52.4	50.7	45.9	54.0	9.3	5.0	9.5	6.6	7.9
1 年	学校	156	60.3	57.3	52.1	60.3	61.5	5.9	4.5	5.0	2.8	3.5
	大阪市	—	59.0	53.7	50.5	55.6	62.1	8.3	5.5	7.4	3.8	4.9
1月9日	大阪府	—	58.5	—	49.8	—	61.5	9.4	—	8.8	—	5.8

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はB問題を選択 2年生の理科はA問題を選択

※ 3年生の理科はB問題を選択

3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年 実施月日		生徒数 (人)	読むこと 【リーディング】	聞くこと 【リスニング】	書くこと 【ライティング】	話すこと 【スピーキング】
			(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)
3 年	学校	138	94.3	96.7	140.5	91.9
10月16日	大阪市	—	105.7	104.6	149.6	102.1

4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトル ラン	持久走 男子1500m 女子1000m	50m走	立ち 幅とび	ハンドボール 投げ	体力 合計点
	151	(kg)	(数)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(秒)	(cm)	(m)	(点)
2 年 男 子	学校	27.29	26.00	34.07	53.41	79.20		8.10	180.79	17.71	37.71
	大阪市	28.38	26.42	42.74	51.50	79.76		8.08	194.64	19.84	41.10
	全 国	28.95	25.94	44.47	51.51	78.98		7.99	197.18	20.57	41.86
2 年 女 子	学校	23.16	22.29	40.08	46.96	53.70		8.82	162.81	11.49	46.34
	大阪市	22.99	22.21	45.64	45.86	52.98		9.01	167.01	12.04	47.51
	全 国	23.18	21.56	46.47	45.65	50.67		8.96	166.32	12.40	47.37

令和6年度 西淀中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

＜国語＞

平均正答率は全国より2.9ポイント低い。「書くこと」「読むこと」は全国より低いものの、大阪市より上回っている。平均無解答率は大阪市より0.1ポイント低い。「学校別解答状況整理表(以下、S-P表)」から、「話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」趣旨の問題に課題があり、学校全体として重点的に指導すべきと考えられる。

＜数学＞

平均正答率は全国より4.5ポイント低い。「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のすべてにおいて全国より低い。平均無解答率は全国より2.6ポイント高い。S-P表から「グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかをみる」趣旨の問題に課題があり、学校全体として重点的に指導すべきと考えられる。

＜生徒質問紙＞

「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対する肯定的な回答が、大阪市よりそれぞれ2.7ポイント、2.9ポイント高い。ICT機器の活用頻度が全国・大阪市より高い。

○チャレンジテスト(3年生)

＜国語＞

大阪府と比較して、平均点は2.8点低く、平均無解答率は1.5%低い。選択式と記述式の問題に課題があるが、短答式問題は大阪府平均以上に正答している。

＜社会＞

大阪府と比較して、平均点は7.3点低く、平均無解答率は0.1%高い。知識・技能の観点にかかる問題が弱い。

＜数学＞

大阪府と比較して、平均点は6.7点低く、平均無解答率は0.3%高い。樹形図の意味やその用い方を理解し確率を求める問題については大阪府平均以上に正答できているが、図形やデータの活用の問題において課題がある。

＜理科＞

大阪府と比較して、平均点は1.5点低く、平均無解答率は0.8%低い。エネルギーや粒子の領域では大阪府平均以上に正答している。

＜英語＞

大阪府と比較して、平均点は5.0点低く、平均無解答率は0.3%高い。記述式の問題に課題がある。

○チャレンジテスト(2年生)

＜国語＞

大阪府と比較して、平均点は4.5点低く、平均無解答率は2.6%高い。「話すこと・聞くこと」にかかる問題が特に弱い。現代仮名遣いに直して書く問題は、大阪府平均以上に正答している。

＜社会＞

大阪府と比較して、平均点は3.8点低く、平均無解答率は0.2%高い。地理的分野にかかる問題が特に弱い。短答式の問題は、大阪府平均以上に正答している。

＜数学＞

大阪府と比較して、平均点は5.8点低く、平均無解答率は2.6%高い。すべての領域の問題に対して弱い。指数を含む文字式に数を代入して式の値を求める問題や多角形の内角や外角に関する問題は、大阪府平均以上に正答している。

＜理科＞

大阪府と比較して、平均点は7.7点低く、平均無解答率は2.1%高い。すべての領域の問題に対して弱い。目的に合う実験の条件について考える問題は、大阪府平均以上に正答している。

＜英語＞

大阪府と比較して、平均点は8.2点低く、平均無解答率は2.7%高い。「書くこと」にかかる問題が特に弱い。日常的な話題についての図とまとまりのある会話文を読み、話の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握する問題は、大阪府平均以上に正答している。

○チャレンジテスト・チャレンジテストplus(1年生)

＜国語＞

大阪府と比較して、平均点は1.8点高く、平均無解答率は3.5%低い。すべての領域の問題に対して大阪府平均より正答率が高い。

＜社会＞

大阪市と比較して、平均点は3.6点高く、平均無解答率は1.0%低い。すべての領域・観点の問題において大阪市平均以上に正答できている。

＜数学＞

大阪府と比較して、平均点は2.3点高く、平均無解答率は3.8%低い。「数と式」に関する問題は、大阪府平均以上に正答している。

＜理科＞

大阪市と比較して、平均点は4.7点高く、平均無解答率は0.8%低い。すべての領域・観点の問題、解答形式の問題において、大阪市平均以上に正答できている。

＜英語＞

大阪府と比較して、平均点は同じで、平均無解答率は2.3%低い。短答式の問題は大阪府平均以上に正答できているが、記述式の問題は弱い。

○大阪市英語力調査(GTEC)

平均のスコアは、「リーディング」「リスニング」「ライティング」「スピーキング」のすべてにおいて大阪市平均に達していない。CEFR A1レベル相当以上の割合は44.5%である。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査

男女とも体力合計点は下回っているが、一部の項目においては全国平均・大阪市平均以上である。

【今後に向けて】

授業規律が守られた学習環境ではあるが、生徒の学力面において十分な成果は出ていない。今後も授業規律を確保しつつ「主体的・対話的で深い学び」を進め、より一層の授業改善を行い生徒の学力向上に努める。また、S-P表を活用して重点的に指導すべきと考えられる設問を把握し、指導方法を改善し充実させる。例えばS曲線より右側の誤答に着目し、当該生徒にとって難解だったと考えられる設問に関する見直しと復習を行うなど、個々の生徒に対するきめ細かな指導を行う。

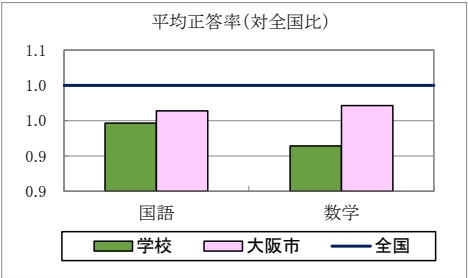
今後も引き続き授業改善と充実に取り組み、習熟度別学習やティームティーチングの工夫、ICTの活用をさらに進めたい。また、授業や学級活動などにおける生徒間での話し合う活動を通じて、生徒自身が考えを深めたり、広げたりできるようにしたい。

令和6年度 西淀中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

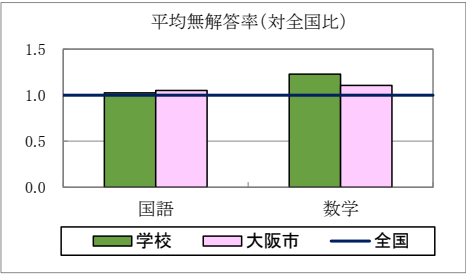
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	55	48
大阪市	56	51
全国	58.1	52.5

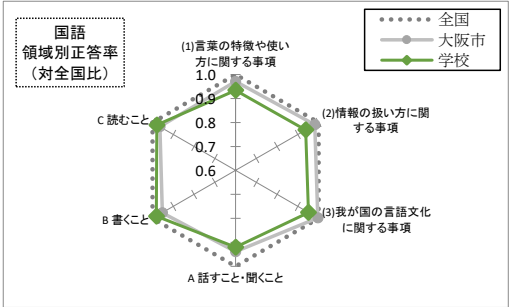
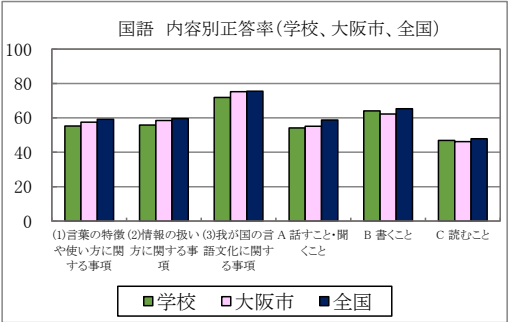


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	4.0	13.9
大阪市	4.1	12.5
全国	3.9	11.3



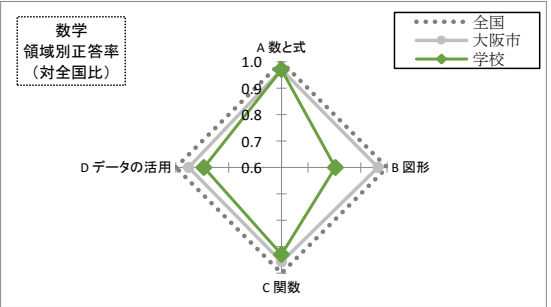
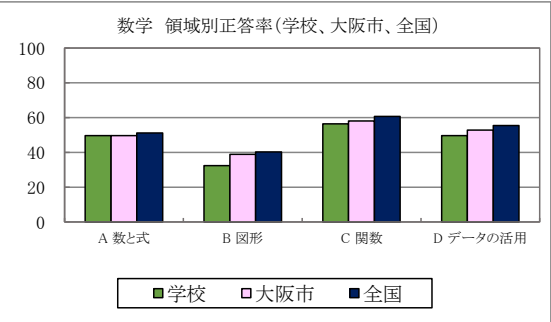
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	3	55.3	57.5	59.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	55.9	58.5	59.6
(3)我が国の言語文化 に関する事項	1	71.9	75.3	75.6
A 話すこと・聞くこと	3	54.1	55.2	58.8
B 書くこと	2	64.1	62.2	65.3
C 読むこと	4	46.9	46.2	47.9



【 数 学 】

学習指導要領の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	49.6	49.6	51.1
B 図形	3	32.4	38.9	40.3
C 関数	4	56.4	58.1	60.7
D データの活用	4	49.6	52.8	55.5



令和6年度 西淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

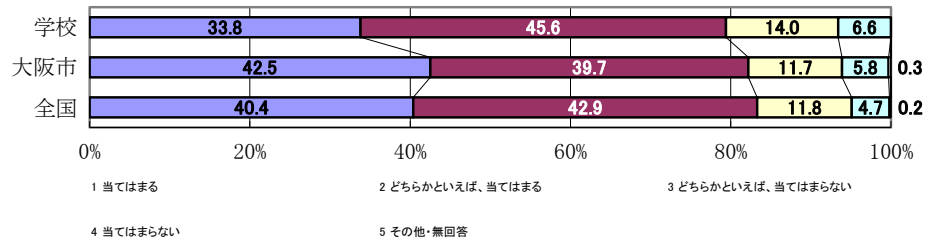
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

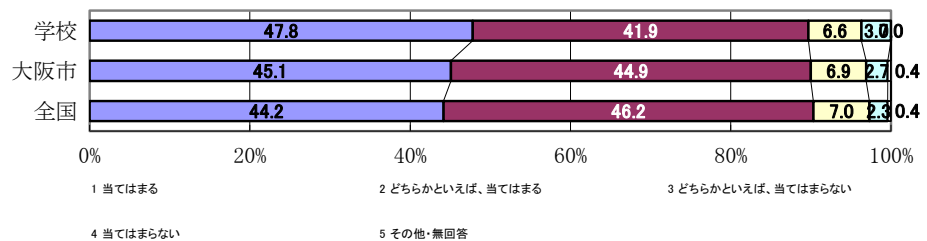
9

自分には、よいところがあると思いますか



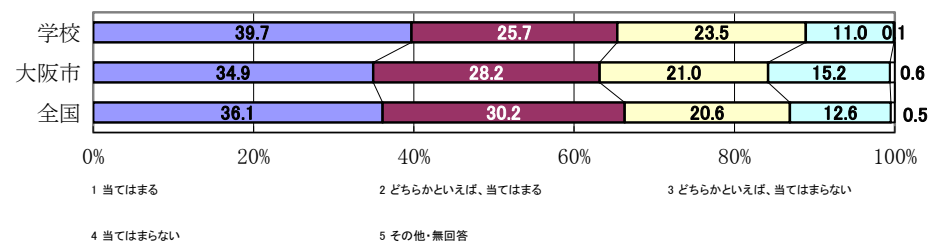
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



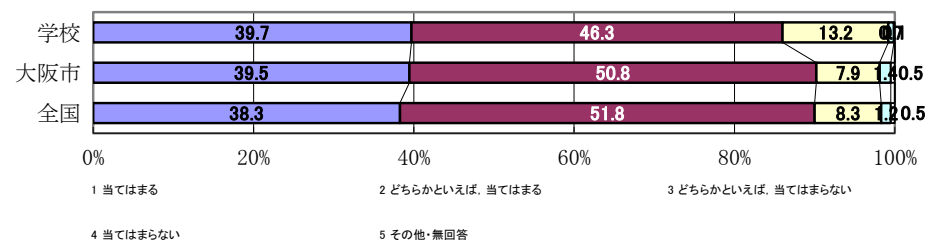
11

将来の夢や目標を持っていますか



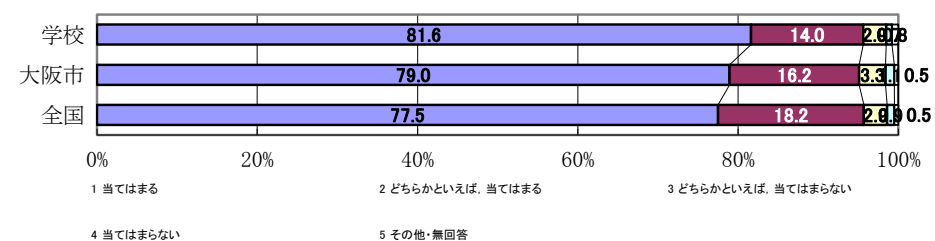
12

人が困っているときは、進んで助け
ていますか



13

いじめは、どんな理由があってもいけ
ないことだと思いますか



令和6年度 西淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より

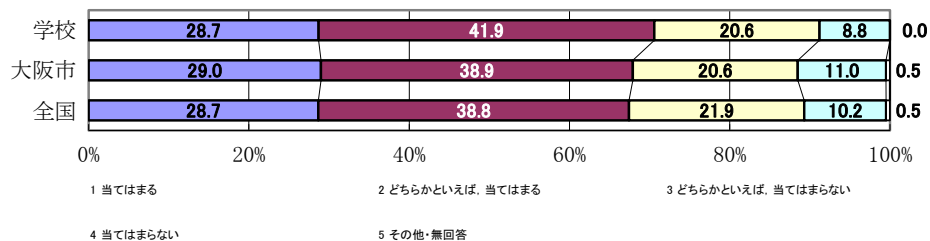
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

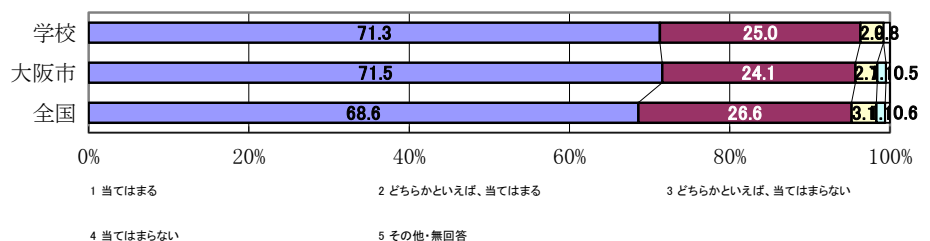
14

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



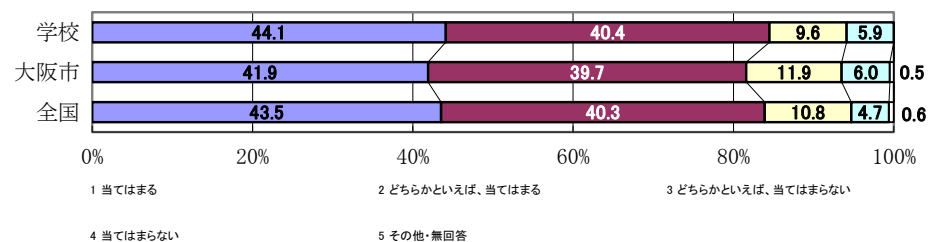
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



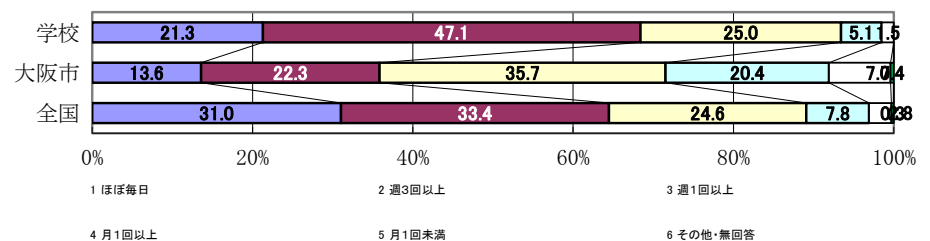
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



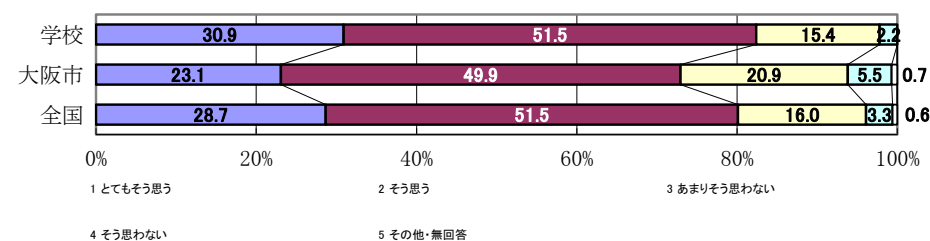
27

1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



70

(1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。)自分のペースで理解しながら学習を進めることができる



令和6年度 西淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

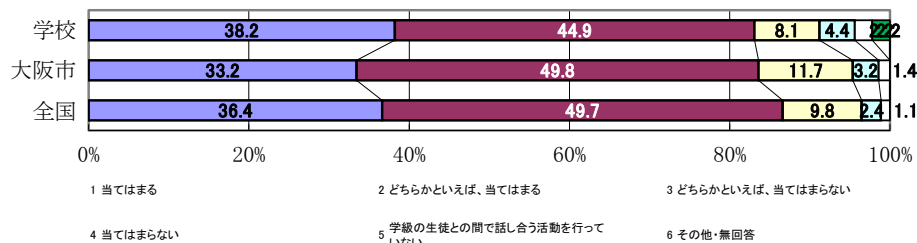
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

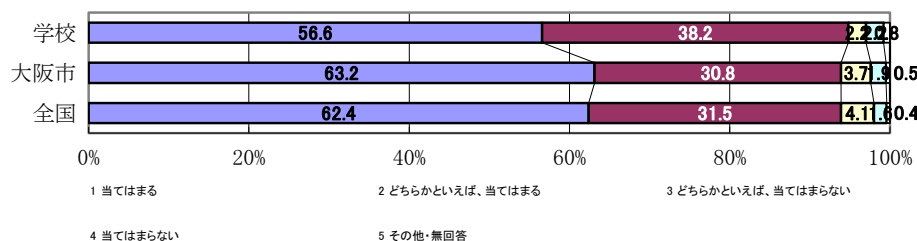
33

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



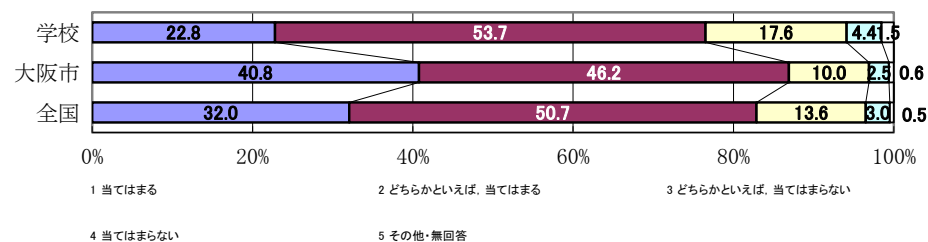
43

国語の勉強は大切だと思いますか



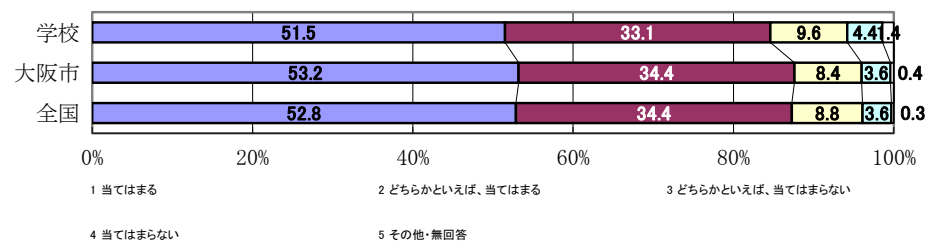
44

国語の授業の内容はよくわかりますか



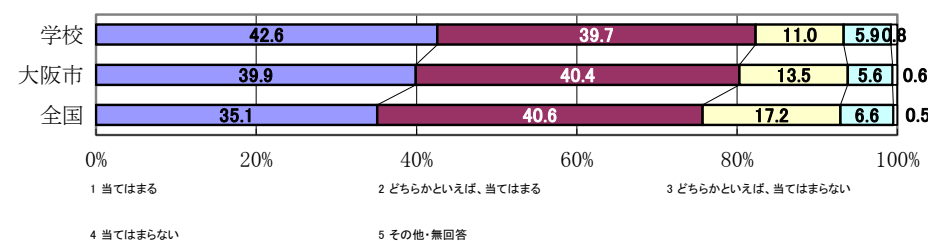
51

数学の勉強は大切だと思いますか



52

数学の授業の内容はよくわかりますか



令和6年度 西淀中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

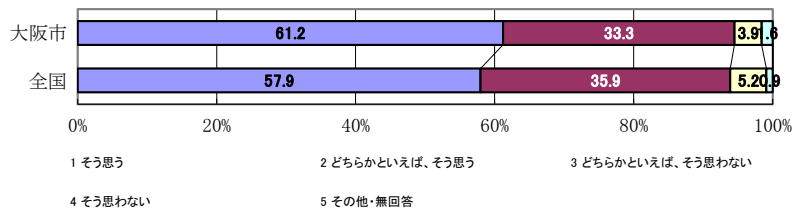
質問番号

質問事項

7

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

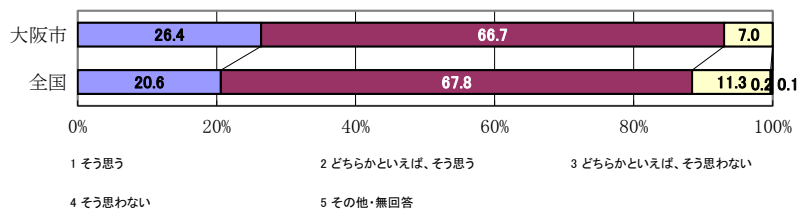
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



25

調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

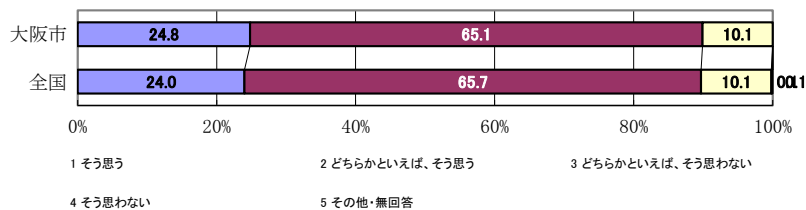
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



27

調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

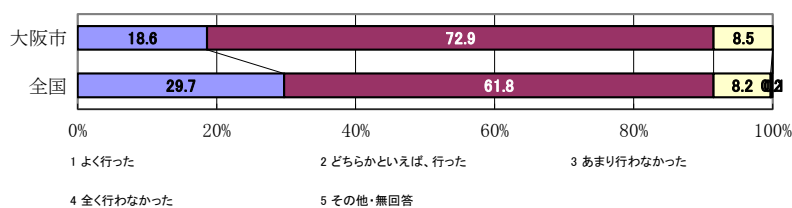
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



42

調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができるような指導を行いましたか

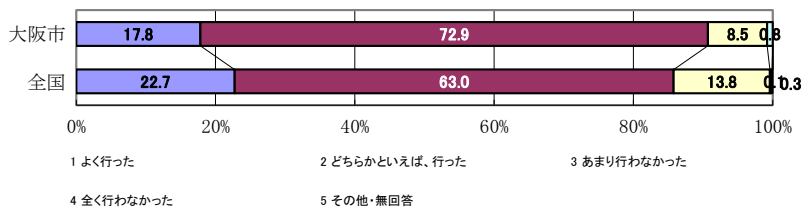
学校 「よく行った」を選択



46

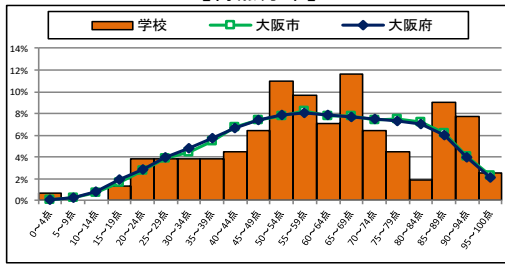
調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行いましたか

学校 「よく行った」を選択

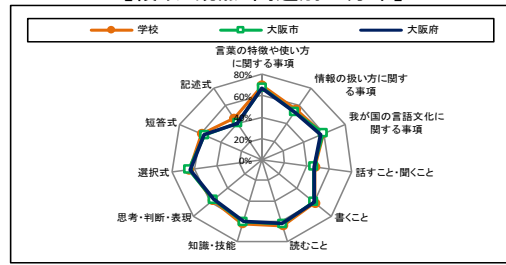


【国語】

【得点分布】

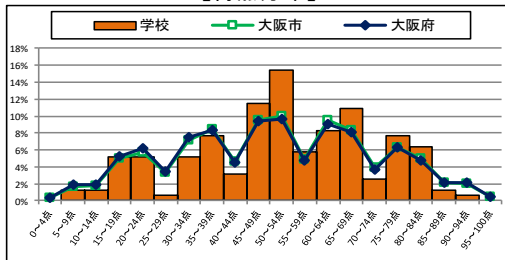


【領域・観点・問題別の分布】

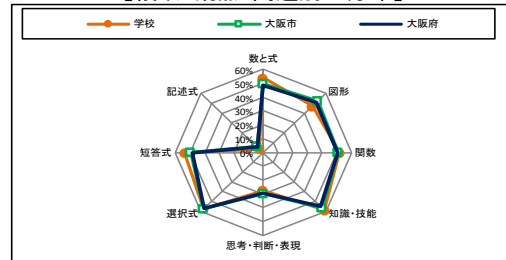


【数学】

【得点分布】

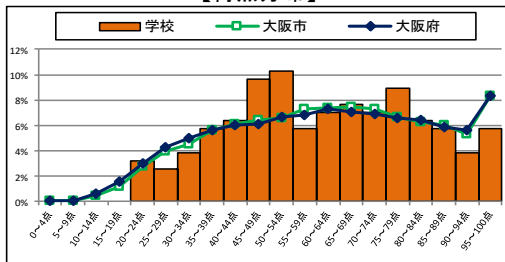


【領域・観点・問題別の分布】

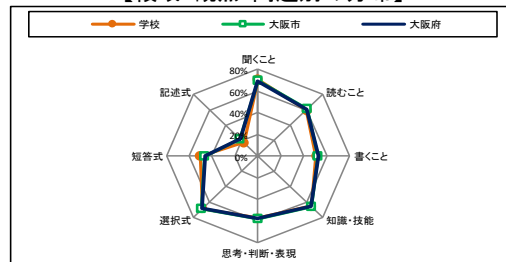


【英語】

【得点分布】

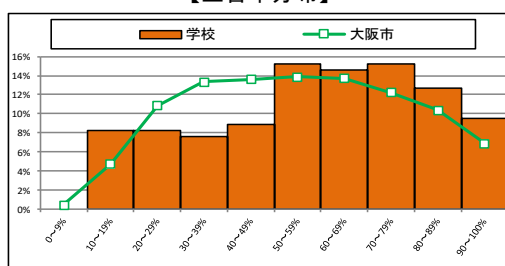


【領域・観点・問題別の分布】

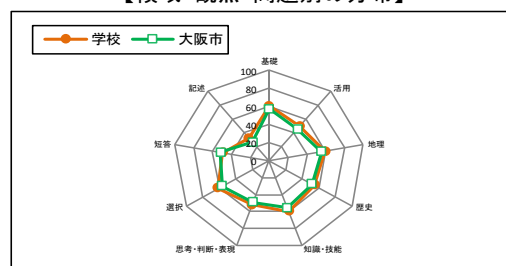


【社会】

【正答率分布】

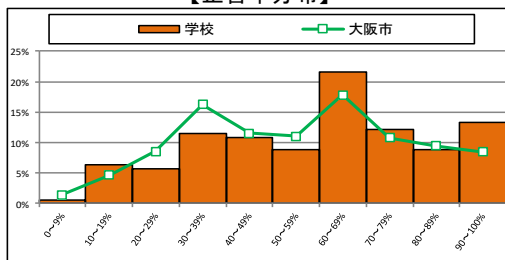


【領域・観点・問題別の分布】

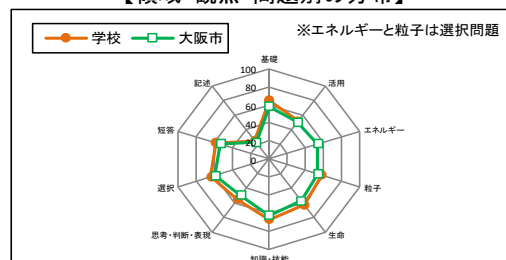


【理科】

【正答率分布】

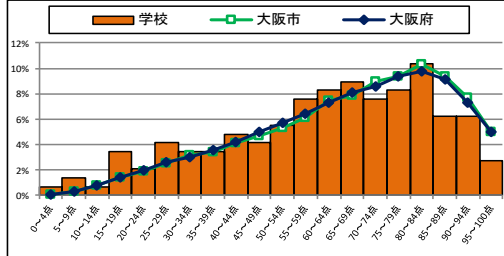


【領域・観点・問題別の分布】

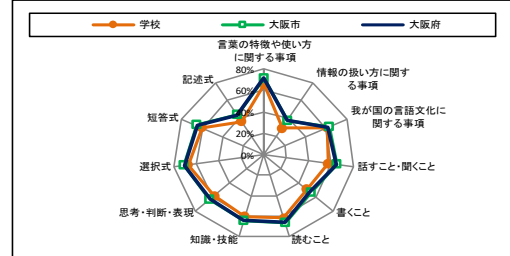


【国語】

【得点分布】

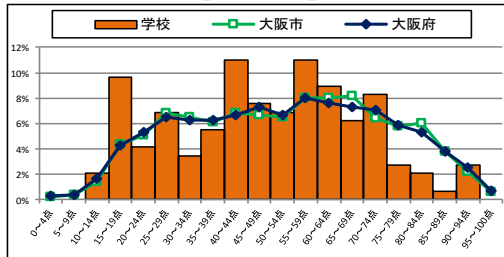


【領域・観点・問題別の分布】

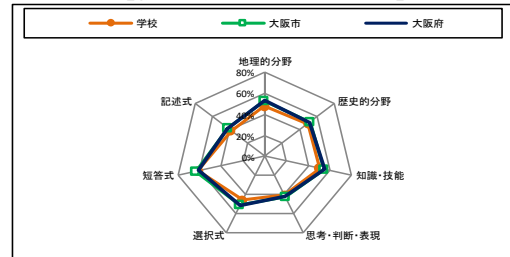


【社会B】

【得点分布】

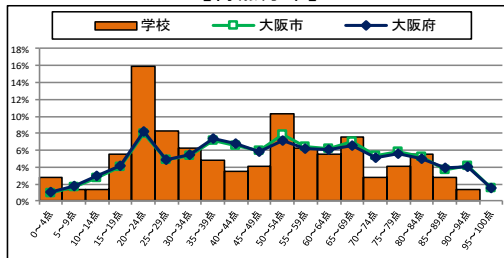


【領域・観点・問題別の分布】

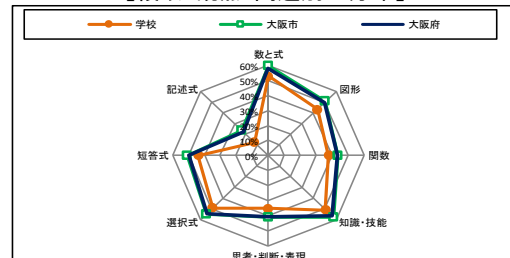


【数学】

【得点分布】

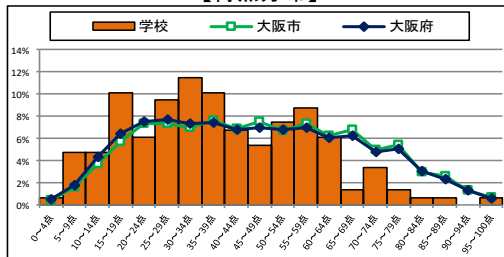


【領域・観点・問題別の分布】

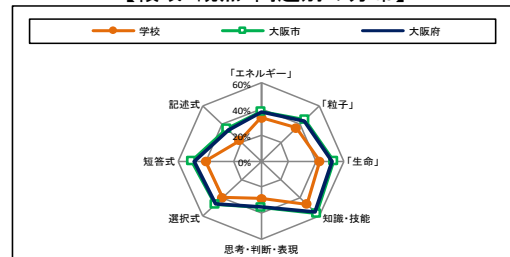


【理科A】

【得点分布】

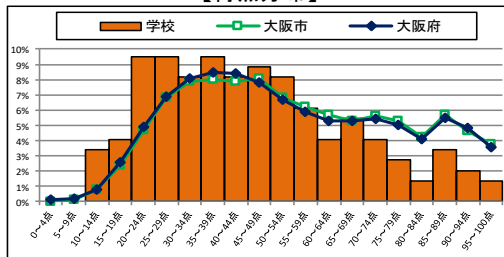


【領域・観点・問題別の分布】

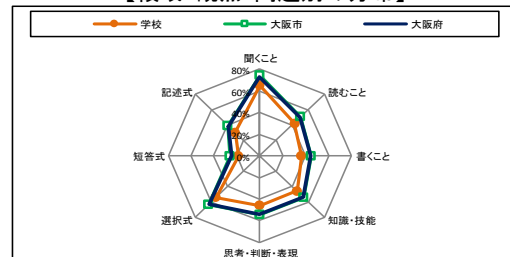


【英語】

【得点分布】

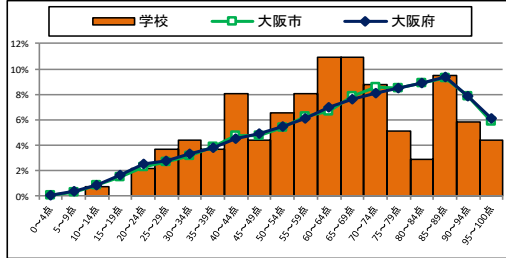


【領域・観点・問題別の分布】

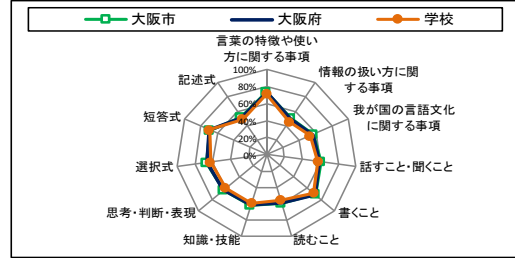


【国語】

【得点分布】

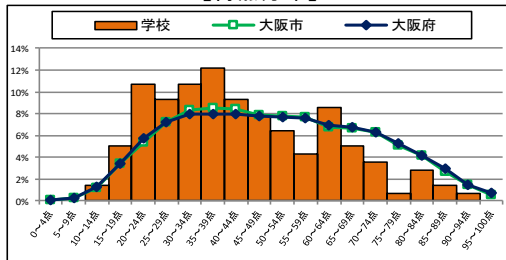


【領域・観点・問題別の分布】

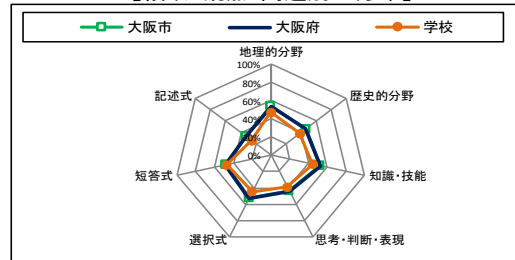


【社会】

【得点分布】

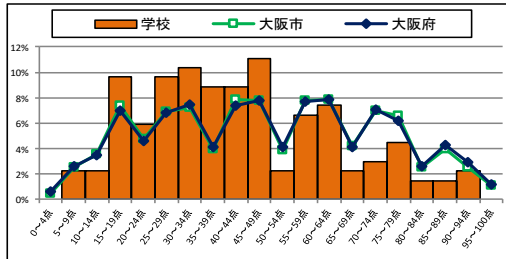


【領域・観点・問題別の分布】

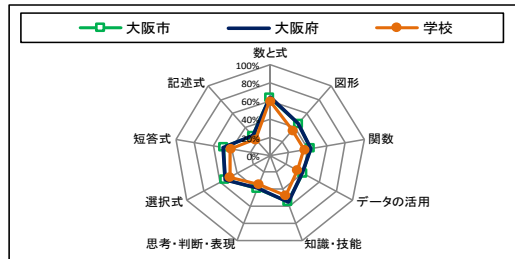


【数学】

【得点分布】

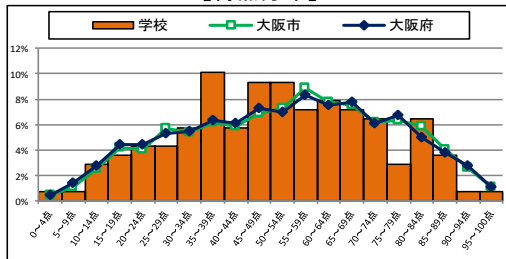


【領域・観点・問題別の分布】

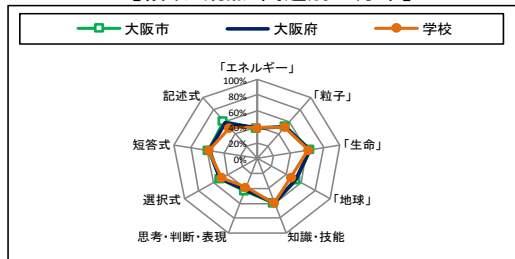


【理科B】

【得点分布】

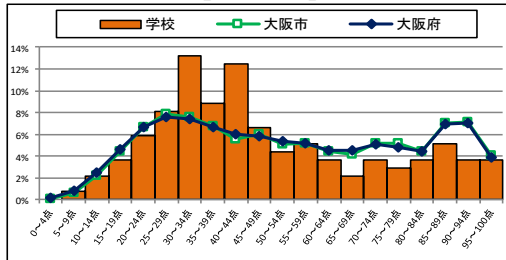


【領域・観点・問題別の分布】



【英語】

【得点分布】



【領域・観点・問題別の分布】

